



世界への
プレゼントになろう



会長: 森下 敏顯 副会長: 鈴木 舜光 幹事: 大長 昭子 副幹事: 島村 武慶

第2135回

- ソング 我が藤枝ロータリー
- ソングリーダー 鈴木 透君



【菜の花】

写真提供: 鈴木 舜光君

会長報告

森下 敏顯君

皆さん、こんにちは、本日は欠席になっています松葉隆夫さんの方から今年も又貴重な新茶を全員の方にいただきました。



『松葉さん毎年おいしい新茶をありがとうございます。』今夜会いますので皆さんを代表してお礼を述べさせていただきます。

さて先週の静岡産業大学に於ける今年度の第一回、冠講座は野口ガバナーを講師にお迎えし、例会も大学の教室をお借りして行いました。ガバナーは重要な法事その後控えており、甲府よりヘリコプターで静岡空港へ飛び、大学までタクシーでいらっしゃいました。飛行時間は30分程でタクシーの方が時間がかかったそうです。さすが山梨県で新聞、テレビ等15社のグループ企業を束ねるオーナーです。

さて、本日は米山奨学生のキムテワン君を第一回の奨学金授与の例会にお招きしています。米山奨学会は今年度も全国で751名におこなわれ、民間の奨学機関としては全国最大を誇っています。第2620地区では20名の奨学生がいます。これから、12回毎月例会に出席して米山奨学会よりの奨学金を授与されます。又、我々藤枝クラブの行事には極力参加して親睦を計る事が義務づけられています。大学生は月10万円、キム君は大学院生なので14万円が毎月、一年間授与されます。返済義務のない奨学金です。このロータリアン全体で支出した奨学金を大事にいただき、これから益々、勉学に励んでいただき、韓国、そして日本の為になる人財になる事を、我々ロータリークラブは支援いたしますのでどうかその事を胸にきざんで、精進して

ください。これから、土屋、松田両カウンセラーが奨学金だけでなく、その他の異国での不便さ、又、勉強の為のお手伝いなど、クラブ全体も含めて応援していきますので、あなたにとって我々にとっても価値ある一年にしていきましょう。

昨日は冠講座の第2回、現会長の担当でしたので、江崎君、大塚君のお世話の元、なんとか、90分、聞いていただきました。伝えたかった事がなかなか言えませんが、これから担当の皆さんもさぞかし、気が重いでしょうが、聞いてもらいたいと思うとしゃべり方に気をとられますが、ちょっと、声の大きめな独り言のつもりでやりましょう。自分でしゃべって自分でうなずくような感じですね。まあ、人にアドバイスしてますけど、自分はなかなかうまくいかないですね。江崎君、大塚君にはあと10回火曜日の冠講座のお世話、翌日水曜日の例会と大変ですが、学生さん達の為、会員講師の為によろしくお願いします。昨日は時々、後にいる江崎君、大塚君二人に視線を送ると『森下さん大丈夫だよ、がんばって』という風に見つめ返していただき、大変勇気づけられ、なんとかやれました。感謝します、ありがとうございました。それではこれで本日の会長報告を終わりにいたします。ありがとうございました。

幹事報告

大長 昭子君

- ・第2620地区より
熊本地震義援金送金および2720への連絡に関するご案内が届きました。
4月27日(水)の例会で募りました所、30,000円集まりましたので、同日送金させて頂きました。ご協力ありがとうございました。
- ・第2620地区より
地区協議会の会場にて『眼鏡』の忘れ物がありました。

- ・学校法人新静岡学園より
静岡産業大学役員変更のお知らせが届きました。
- ・東海ガス㈱
東海ガス㈱代表取締役の変更のお知らせが届きました。

■ 出席報告

平野 純也君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
31/41 75.60%	32/41 78.04%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○青島克君 ○石垣君 ○江崎友君 ○大杉君
○櫻井君 ○鈴木邦君 ○仲田晃君 ○松田君
○松葉隆君 池谷君

(2)メイクアップ者

鈴木 舜光君(地区協) 島村 武慶君(地区協)
青島 彰君(地区協) 村松 英昭君(地区協)
石垣 善康君(地区協) 松葉 義之君(地区協)
鈴木 透君(地区協) 青島 鉄男君(地区協)
小西 啓一君(地区協) 土屋 秀夫君(地区協)
平 和則君(地区協) 大塚 博巳君(地区協)
松葉 隆夫君(地区協)

■ スマイルB O X

平野 純也君

- ・誕生祝いありがとうございます。年齢不詳です。
松葉 隆夫君
- ・4月23日(土)は藤枝市少年サッカーリーグ
宣の開会式にクラブから、松葉隆夫パスト会
長、青島彰パスト会長、平野会員のご参加を頂
きましてありがとうございました。5年生はロー
タリー旗を目指して「優勝」する為頑張っ
てくれる事と思います。 大塚 博巳君

スマイル累計額 172,000円

■ 地区研修協議会報告



次年度会長

鈴木 舜光君



- ・4月10日(日)「グランシップ」に於いて
開催されました
- ・登録後 会場に入り席に着きましたが 今回の
席は 各委員会ごとでしたので 会員の皆
さんとは離ればなれでした
- ・午前中は 全体会で ペッツの時の 復習で
した
- ・昼食後 各委員会に分かれての研修会でした
- ・ジョン F・ジャーム RI 会長の 4つの優先
事項(会員増強・財団年次基金(年次基金)・
ポリオ撲滅活動への寄付・アトランタ国際大
会への出席)と 今年の10項目の地区目標
の 実現に向けて進んでいきたい
- ・特に 会長・幹事・会員増強委員会では 50
人以下のクラブは 純増1名 50人以上の
クラブは純増2名を目指す 確認されました
又 純増が多かったクラブの どうして そ
んなに多くの会員が 入会したのかの ノウ
ハウも 紹介されました
我がクラブでは 真似できないような 勧誘
等の仕方もありました
- ・2016~2017の下期の地区関係の行事
予定 並びに 2016~2017の上期・
下期の行事予定も承認されました
- ・2016~2017年度 2620地区の予
算が承認されました
- ・2016~2017のガバナーの公式訪問日
程が承認され 我がクラブは 9月6日(火)
に4クラブ合同で行います 会場は・・小杉苑
です

以上が 会長・幹事・会員増強委員会の報告です

- ・補足がありましたら 島村幹事 青島会員増
強委員長よりお願いします
- ・各委員の発表につきましては 委員会の責任
者に報告していただきます

次年度

会員増強委員長

青島 彰君



1. 会員増強維持分科会での 2016～2017 での目標は次のとおり。
 - ① 会員数 50 名以下のクラブ目標 純増 1 名以上
会員数 50 名超のクラブ目標 純増 2 名以上
 - ② 女性会員の開拓
 - ③ 若い世代 (20 代-40 代) の開拓
2. 会員数維持については毎年 6 月期に退会者が多いことから会員の状況について十分な把握を行い退会防止に努める。地区において昨年 2 月から今年 3 月までの会員減少数は約 100 名
3. 地区内において 4 名以上の純増を達成したクラブの事例発表がありました。

事例 1：焼津クラブ (松村友吉年度)

会員の友人、同業者、関連企業等の掘り起こしを行い、例会後に入会候補者をアポ無し訪問を何度か行う等積極的な開拓を行った。(結果 8 名の純増を達成した。)

クラブ内問題点

入会候補者に対して違和感がある会員に対しては理解を得るよう説得、また入会について賛同できず、異議申し立て者から退会の意思表示があった場合は退会を認める。

事例 2：静岡クラブ

女性会員の入会については過去実例が無かったが、企業女性支店長への交代があり女性お断りの慣例が無くなった。

事例 3：地域の各種団体との積極的な交流を行う。

商工会議所青年部、青年会議所、経済団体等総会への出席案内がある団体への積極的参加を行い新規会員の開拓を行う。

所感：純増 4 名以上のクラブはほとんどが地域内で最初に設立されたクラブが多いようであった。他クラブから目標とされるような格式の高さも入会者の開拓に繋がる大きな要素かもしれない。世代毎の会員数のバランスが悪い当クラブとしては、このような問題点を解消する会員増強の必要性を感じます。

次年度奉仕

プロジェクト委員長

鈴木 透君



昨年まで継続事業として富士山を題材に活動していましたが、世界遺産として登録されたこともあり、一度ピリオドを打つ時期に来ているという生子ガバナーのお考えです。過去の経緯と今後の指針は不明ですが、今年度はロータリー活動を通して楽しんで頂くことが指針と言われていました。

経済も大切ですが、日本人の心の立て直し方が大切であり、心を常に浄化する必要があります。特に、「イジメ・差別・偏見」と「貧困」という社会問題に目を向けて、社会の秩序を保つ取り組みとしてセミナーを企画しています。

地区大会に合わせて、落語家の三遊亭究斗を外部講師に招き、「超私の奉仕」について理解を深めるためのセミナーを開催します。

(時期：16 年 11 月 20 日(日) 場所：グランシップ)

時間が大幅に余ったので、志田パストガバナーがコーディネートされて各クラブの社会奉仕活動をお聴きしました。諸先輩方のお話を聴いて、ロータリー活動は経験が大切だと実感した次第です。



次年度

職業奉仕委員長

石垣 善康君

(代読 青島 鉄男君)

地区研修委員、積パストガバナーが不在の為、宮城島職業奉仕リーダーが、講話されました。

：職業奉仕を理解することは、難しい。

社会奉仕、国際奉仕などは、誰に対して奉仕するのか、理解しているが、職業奉仕ははっきりしていない。其のことが職業奉仕を理解する事を難しくしていると思う。

：1910 年シカゴロータリークラブのフレデリックシェルドンが提唱したロータリーの奉仕理念。そしてシェルドンの理念を研究している

2680 地区田中パストガバナーの論文がく源流の会ホームページに掲載されているので、ぜひ一読して欲しい。

また、来年1月29日田中さんを講師に職業奉仕セミナーを開催するので、ぜひ参加されたい。

次年度

青少年委員長 平 和則君



1. 野口カバナーより（次期、アドバイザー）
 - ・ロータリーの綱領（目的）に、「青少年奉仕」が加わり、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の4つから5つになる。
 - ・青少年奉仕は、世界中の多くのクラブが行っている不滅の活動あり、積極的にかかわって欲しい。
2. 青少年奉仕委員会（渡邊芳一委員長、清水中央 RC）
 - ・RI が推奨するプログラムである IA（現在、19 クラブが提唱）、RA（現在、6 クラブが提唱）、YE（次年度は 5 名の受入・派遣）による活動を進めて行く。
 - ・縦割りではない活動を目指す。委員会相互の交流や研修プログラムの企画を行う。
 - ・青少年の安全確保と虐待やハラスメントの防止のための危機管理講習会の実施。現在、青少年交換は RI の認証が必要。数年のうちに全ての青少年奉仕活動に適用される予定である。青少年がかかわるプログラムがあるクラブは危機管理研修を受講して欲しい。
（卓話の 30 分を利用くださいとのこと）
 - ・IA、RA、受入れ学生（インバウンド）、派遣候補学生（アウトバウンド）、青少年交換学友（ローティクス：交換学生帰国者）のクラブ活動への参加協力をお願い。
例）奉仕活動の協働、交換学生の帰国報告、受入れ学生のホームカントリー紹介など。
3. 青少年交換学友委員会の新設（望月啓行委員長、静岡 RC）
 - ・目的は、交換の成果（評価）の明確化、ロ

ータリアンへの道筋を作ること。

帰国学生を対象とし、本年度は、組織体制としての環境整備と後続の交換学生のサポート体制及び活動の強化を行う。

4. ゼロ容認方針（zero tolerance）について
 - ・セクハラや虐待の申し立ての報告があった場合、報告を受けてから、その真偽や重大性、刑事上の事件性があるなしにかかわらず 72 時間以内に RI に報告するもの。ゼロ容認方針とは別に、RI に報告すべき重大事故や重篤な疾病等が発生した場合も、72 時間以内に RI に報告する必要がある。
 - ・ロータリー活動に参加するすべての青少年が対象。学生を守り、ロータリークラブを守る。
 - ・クラブで隠蔽があってはならない。怠った場合はクラブの終結、停止等のペナルティ。
 - ・RI への報告は危機管理委員会が行う。
当該地区・クラブは判断しない。
 - ・詳細は、配布資料を参照してください。

次年度財団委員長 村松 英昭君



まずはじめに、前委員長中山正邦氏より 3 年前より、未来の夢計画をすすめてきました。来年度、財団ができ 100 周年になります、設立当初 26 ドル 50 セントよりはじまりましたと財団の歴史の話がありました。

次に、次年度委員長の曾根真人氏より、世界のロータリーの流れが、「奉仕する団体がロータリーである」という認識に変わってきているとのべ次年度テーマは「人類に奉仕するロータリー」です、そして今年度寄付目標は、年次寄付一人 150 ドル、使途指定寄付（ポリオプラス）一人 30 ドル、恒久基金寄付クラブで一人 1000 ドル。財団について考える場を四半期に一度作ってください。

ロータリーカードへ加入してください、オンラインで申し込みができます、使用金額の 0.3 パーセントが財団へ入りますので。

地区補助金の申請締め切りは4月27日です、財団事務所必着です。

米山記念奨学会

松葉 義之君

ロータリー米山記念奨学会部会分科会報告

本会議、食事後分科会に出席しました。次年度委員長 中山秀樹君(静岡)より開会挨拶、P G 井上雅雄君(甲府南)からアドバイザーのお話を頂きました。その後2015-16年度米山記念奨学会卒業生の 鐘 祐希さん(中国広東省出身)から故郷の紹介、日本で学んだ事、日本の事を中国に発信する事、今後の生活等の卓話が有りました。続いて 小澤邦比呂君(パワー浜松)から「ロータリー米山記念事業について」成り立ち、推移、現況、今後の展望等詳しく説明下さいました。分科会に参加して改めて奨学会の事業の重要性を再認識しました。

次年度は一人16,000.-を目標に努力する、またロータリーカードの加入促進も進めて行きたいと思いました。

国際奉仕委員会

小西 啓一君

1 地区委員会組織の件

青少年交換委員会が青少年奉仕委員会に移行

国際奉仕委員会所属の小委員会はロータリー友情交換小委員会のみ

2 地区委員会の本年度の活動

1. 各クラブがどんな奉仕活動を行えるかの勉強
2. 各クラブはどんな取り組みが出来るのかの勉強
3. 各クラブへのアンケートの実施 事例集をまとめる
どのような奉仕活動に取り組んでいるか
どのような成果や問題点があったか
4. 活動に取り組みたいクラブには実施しているクラブからアドバイスができる体制をつくる。
5. R財団委員会との情報交換と共同セミナーの実施

3 その他

国際奉仕活動は企画から実施まで単年度で終わることは少ない

C L P (クラブ・リーダーシップ・プラン) の運用で2-3年の事業に

4 各クラブの活動事例

焼津RC	ポリネシア	
浜松西 新富士	カンボジア	自転車 里親制度
三島せせらぎ	タイ スリランカ	自転車 浄水器
清水	県大生に奨学金 自転車振興会の利用	

5 補助金の利用

地区補助金、グローバル補助金の活用

ロータリーの友紹介

柳原 寿男君

『ロータリーの友4月号紹介』



横組みP3 R1会長メッセージ

マザー・テレサの言動を通して、他人が求めることに対しては、自ら額に汗して手を差し伸べようと言われている。

横組みP8

各々のクラブによる種々様々なプロジェクトのあり方を紹介。

横組みP14 4月の母子健康月間によせて

ポリオ撲滅とその他の取り組みのいろいろ。

横組みP18 米山梅吉氏のプロフィール

生まれ(母が三嶋大社神官の娘)育ち(父が急逝して一時、三島に住む)実業家としての業績、ロータリーとの関わり等、ぜひ一読を。

横組みP31 ガバナーのページ

野口英一ガバナーの紹介記事として、我が藤枝RCの2008年4月からの静岡産業大学での寄付講座(冠講座)について記載。

縦組みP4 おらほの言葉

庄内方言記録者、樋渡浩氏の講演要旨
グローバルな現在の情報社会から、ともすれば忘れられていく地方の方言についての一考察。

縦組みP9 わがまち…そしてロータリー

千葉市と千葉RCの紹介記事

縦組みP13 友愛の広場

どの投稿記事も大層含蓄にとんだ内容であり、改めて「ロータリー」を考えさせられるものである。

★ 奨 学 金 授 与

米山奨学生

キム テワン
金 奏完君



米山世話クラブカウンセラー
オリエンテーション

日 時：4月17日（日）

場 所：米山梅吉記念館



森下会長 土屋富士子君 松田真彦君

第 51 回

藤枝市少年サッカーリーグ戦開会式

日 時 4月23日（土）

場 所 藤枝総合グラウンド

参加者 松葉 隆夫君 青島 彰君

平野 純也君



★ 冠 講 座

<開講日>

平成 28 年 4 月 26 日(火)

<講義内容>

「私と仕事」

<担当者>

藤枝ロータリークラブ会長

(株) 森下工務店

代表取締役 森下 敏顯君



(担当／大石君)